高取小だより　　令和６年３月12日

三本桜

第41号

ふかく考える子　　あたたかみのある子　　がんばりのきく子
３月の目標　：　学校生活のふり返りをしよう

南海トラフ地震への備えは？

南海トラフ地震。それは東海から九州まで東西およそ700キロに及ぶ南海トラフに沿って発生する巨大地震です。これまでおおむね100年から150年の周期で、マグニチュード８クラスの巨大地震が発生しています。国の最悪の想定では、広い範囲で震度６から７の強い揺れが、数分にわたって続きます。建物の倒壊によって亡くなる人は、およそ８万2000人。そして津波は、震源域に近い高知県の沿岸では最大34メートル（黒潮町）、名古屋や大阪などにも５メートルの津波が襲来します。南海トラフ地震では震源域が陸に近いため、地震発生から津波到達までの時間が短いことも特徴です。地域によってはわずか２分で津波が押し寄せます。津波による死者は最悪の場合、東日本大震災の10倍以上、およそ23万人と推定されています。

では、南海トラフ地震に備えて、私たちにできる対策にはどんなことがあるのでしょうか。非常に広範囲にわたる被害が想定される南海トラフ地震では、政府や自治体からのいわゆる「公助」がスムーズに受けられない恐れがあります。普段から個人が行う「自助」、そして家庭や地域で協力しておこなう「共助」への取り組みが重要な対策となります。

高取小学校では、６年生の総合的な学習の時間に、防災のための安全なまちづくりを目指した活動について調べ、地域の防災とそれに携わる人々や組織について理解を深めていきます。そして、自分たちの地域の防災の在り方について考えるとともに、自分たちの生活を防災の視点から見直し実践する態度を育てています。

また、非常変災時対応マニュアルを作成し、さまざまな場面を想定し、自然災害発生時に備えた訓練を行っています。４月には火災を想定した訓練、５月には集団下校、６月には水防訓練、９月にはシェイクアウト訓練、10月には地震を想定した訓練、１月には総合訓練を行いました。これらの訓練を通して、日頃から命を守るための学校防災体制を確立していきます。

【１月24日　総合訓練の様子】

６年生を送る会を行いました

７日（木）、６年生を送る会を行いました。この会は、これまで高取っ子のリーダーとして活躍してくれた６年生に感謝とお別れの気持ちを伝える会です。合唱、ゲーム、メッセージ…。全校児童が心と心を通わせることができました。みんな一生懸命で、楽しくて、そして、みんなで盛り上げよう、盛り上がろうという気持ちでいっぱいでした。送る側と送られる側と教職員が、本当にすてきな時間を過ごしました。

委員会活動やクラブ活動をはじめ、縦割り清掃、集団登校の場でリーダーシップを発揮してくれた６年生との生活もあと１週間となりました。卒業生から在校生へと、高取っ子の文化はしっかり引き継がれていきます。

２・４年生の保護者の皆様へ

６日（水）に延期していた遠足を実施できました。現地での学習はもちろん、バスによる移動、弁当、おやつの時間も楽しく過ごせたようです。準備にあたっては大変お世話になりました。ありがとうございました。